

道

2019年7月1日
(第45号)



この〈へ道〉右下に田圃の傍らにぽつんと立つ一本の大きな木の写真を載せてきた。「すてきな木ですね」「どこにあるんですか」などの言葉が寄せられる。▼木は、自宅から百メートル余りの所にある。遠田池の下側、地域集会所や納屋、電柱などに囲まれている。写真は、それらが写りこまない特定の撮影ポイントからで、ある意味、作られたものといえる。▼長く真備の地を離れて暮らしていた僕には、この棕の木(ムクノキ)は「ふるさと」のシンボリックな存在だ。年に一度か二度、真備に戻ってくる毎に木が僕を迎えてくれた。祀られているのは「荒神様」。子どもの頃、正月明けにここで「どんど焼き」をして餅を焼いて食べた記憶がある。この木の洞でフクロウが雛を育てているのを近所の悪童らがいたずらするようないこともあった。木でセミ捕りもした。▼さて、昨年の西日本豪雨では、向こうに見える小田川右岸堤防を水が越えた。荒神祠は水に没し、集会所は天井近くまで浸水した。川の向こう側では堤防が決壊し僕が勤務していた建物を含む町の中心部などが大きな被害を受けた。▼あれから一年が経つ。みなし仮設住宅で寂しく不便な生活を送っていた〇さん夫妻は、この五月、再建した真備の自宅に帰ることができた。一方、自宅に戻れず、やりきれない思いで日々を過ごす人が大勢いる。▼「大きな木」の陰で、見えていない、見ないようになっている、隠された、表に出ないものがある。そういうところにも目が向けられ、光があたるべきであろう。それこそ「復興」というものか。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田
棕の木